

Ryu's Paper

リュウズ ペーパー

龍華図書館

2021年11月1日

11月号(隔月発行)

Vol.25

紅葉の美しい季節がやってきましたね。観光地にも徐々に賑わいがもどりはじめ、今年こそはおでかけの計画を立てている方も多いのではないのでしょうか。しかし油断は禁物です。しっかり感染症対策をして秋の行楽を満喫してくださいね。今回の『図書館でめぐる郷土～八尾市史編～』のテーマは『リトル・ベトナム』です。ベトナムにルーツをもつ市民が多いことで知られる八尾市、その背景にはどのような歴史があるのでしょうか。

シリーズ

図書館でめぐる郷土
～八尾市史編～

第二十五回 『リトル・ベトナム』

八尾市域には現在、外国にルーツをもつ人々がたくさん住まれており、2020年の『八尾市統計書』によれば外国籍を有する市民はその数7,908人にもおよびます。国籍は韓国・朝鮮籍がもっとも多く、2020年に中国籍の市民の数を上回り2番目にベトナム、次いで中国の順となっています。

ベトナム籍の市民の多さは、ベトナム戦争終結後に難民としてベトナムを脱出した人々と、その関係者が市域に住むことに由来しています。1975年のベトナム戦争終結ののち、ベトナムの急速な社会主義化に反発したり、生活の苦しさに耐え兼ねた人々が小さな船に乗ってベトナムを脱出し難民となりました。いわゆる“ボートピープル”と呼ばれた彼らはその後世界各地へと離散していきます。日本にも同年にはじめてボートピープルがやってきましたが、当時の日本にとってはじめての難民であり、受け入れ態勢は十分とは言えませんでした。1978年に閣議決定でベトナム難民の定住が認められ、八尾市でも、閉山した炭鉱労働者などを受け入れる雇用促進住宅にベトナムからの難民の受け入れがはじまります。特に八尾周辺には中小の工場が多く、働く場所もあったため定住が進んでいきました。やがて家族の来日も認められるようになり、他地域に住んでいたベトナムの人々も八尾に移り住むようになったそうです。

はじめは難民として日本にやってきたベトナムの人々でしたが、徐々に八尾での暮らしのなかで、独自のコミュニティを形成していきます。1997年には八尾市ベトナム人会が結成され、旧正月にはベトナムの獅子舞ムーランや民族音楽が披露されるテト祭、ベトナムの郷土料理がふるまわれる中秋祭などが開催されます。また2015年には安中町にベトナム人たちの寺院である福光寺が寄付を募って建設されています。近年では八尾にベトナムにルーツを持つ人々が多く住むことがマスコミなどで取り上げられ“リトル・ベトナム”と呼ばれることも増えてきているようです。

現在八尾市では、多文化共生への取り組みが進められており、外国籍市民への多言語での情報提供や、相談支援、日本語学習の支援などが行われています。また、八尾市国際交流センターでは外国にルーツを持つ市民との交流イベントが開催されるなど、八尾は外国籍市民にとって暮らしやすいまちになりつつあるのかもしれない。

【右写真】祝八尾ベトナムテトでのムーラン
典拠元『新版八尾市史民俗編』



参考資料

『新版八尾市史 民俗編』2019年3月 市史編纂委員会/編集

『八尾市統計書 2020年版』2020年11月 八尾市総務部総務課統計係/編集

『第2次 八尾市多文化共生推進計画』2021年3月 八尾市人権文化ふれあい部文化国際課

11月のTopics



-Topics

スマイル SMILEコーナー



9月から、一般書の28番の棚に「SMILE コーナー」という新しいコーナーが出来ました。来館される全ての方に同じように図書館の資料や情報を共有し、笑顔で利用してほしいという思いを込めて作ったコーナーです。どんな資料があるのか、一部ご紹介します。

❖ わいわい文庫

わいわい文庫は伊藤忠記念財団による『マルチメディア DAISY 図書』です。本文の読み上げ機能があり、音声と一緒に文字や画像が表示されるデジタル図書です。文字の大きさや色、音声のスピードも変えられます。紙の本の読書が困難な方でも読書が楽しめるように作られています。

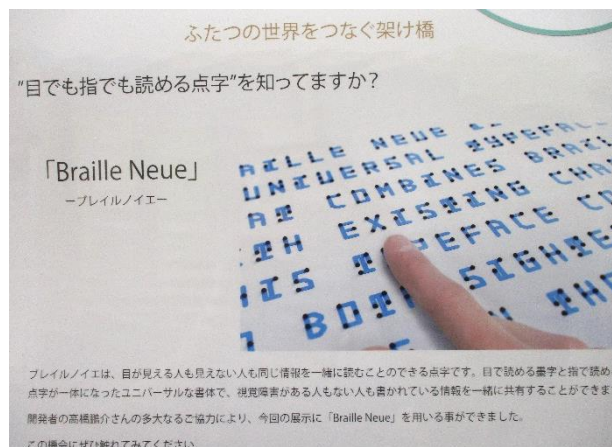
❖ LLブック

『LLブック』とはスウェーデン語の「Lättläst(やさしく読める)」の頭文字を取ったもので、誰もが読書を楽しめるように工夫された、「やさしく読みやすい本」です。ふりがなや絵文字がつけられ、まだ日本語が得意ではない方や、知的障がいのある方をはじめとした一般的な情報提供では理解が難しい方々にも読みやすく、わかりやすい表現が多用されています。

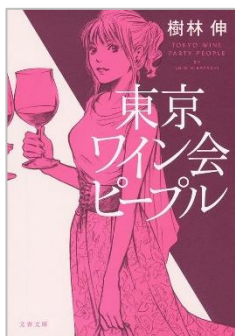
❖ Braille Neue(ブレイルノイエ)

『Braille Neue』とは、デザイナーの^{たかはしこうすけ}高橋鴻介さんが発明した、目が見える人も見えない人も同じ情報を一緒に読むことができる点字です。目で読める墨字と指で読める点字が一体になった書体で、カタカナの五十音、アルファベット、数字の3種類があります。既に墨字と組み合わせた点字は発明されていましたが、和文にも対応したものが開発されたのは世界で初めてのことです。

さらに公共図書館での導入は龍華図書館が全国初。SMILE コーナーで、文字のすべてがご覧いただけるよう展示しています。実際に指で触れることも可能です。是非ご来館ください。



今月の一冊はコレ!



「東京ワイン会ピープル」

(資料コード:710608878)

著：樹林伸 / 出版：文藝春秋



11月の第3曜日はボジョレーヌーヴォーの解禁日。今月の一冊はワインにちなんだ小説をご紹介します。それぞれ自慢のワインを持ち寄って楽しむワイン会。一見楽しそうな集まりですが、そこは男女の愛情や欲望、打算が渦巻く場所。様々なワイン会をめぐるうち、主人公も、その渦の中に巻き込まれていきます。自身もソムリエであり、ワインを題材にした漫画『神の雫』の原作者でもある樹林伸氏による極上のエンタテインメント。この本でワインの魅力を感じてみませんか。

編集・発行

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね! してください。

